

持続可能な原材料調達 連続セミナー

第3回 鉱物資源

日時： 2006年7月25日 14:00～17:00

場所： 環境パートナーシップオフィス会議室

主催： 地球・人間環境フォーラム

協力： FoE Japan、WWF ジャパン、グリーンコンシューマー研究会、グリーン・フォワード、サステナビリティ・コミュニケーション・ネットワーク(NSC)、日本環境ジャーナリストの会、日本消費生活アドバイザー・コンサルタント協会(NACS)、バイオマス産業社会ネットワーク(BIN)、標準により消費者の利益を増進するコア・グループ(NCOS) (ABC/50 音順)

日本は、世界有数の資源消費国であり、多くの資源がさまざまな形で発展途上国から輸入されています。本来、原材料の調達にあたっては、日本国内だけでなく生産地における環境・社会配慮が欠かせないはずですが、複雑なサプライチェーンや情報の不足から、これらの問題は必ずしも消費国で認識されてはいないのが実情です。私たち消費者がより安いものを求め、企業がそれを提供することに注力すればするほど、原材料生産にあたって必要な環境社会配慮の費用が支払われず、そのツケを払うのは、環境問題や社会問題で被害を受ける現地の人々ということになりかねません。企業の社会的責任が問われる今こそ、集積された過去の事例に学び、国として、企業として、原材料調達の問題に戦略的に取り組むことが重要です。

本連続セミナーは、私たちの身近な食や住まいなどに使用されている一次産品がいったいどこから来るのか、どのような環境社会影響が生じうるのか、また、それを解決するための企業の取り組み事例について紹介します。

プログラム

- | | |
|-------------|--|
| 14:05-14:45 | 1. 鉱物資源の生産における環境社会影響
谷口正次／国連大学ゼロエミッション・フォーラム理事 |
| 14:45-15:05 | 2. 持続可能な鉱業への挑戦
満田夏花／地球・人間環境フォーラム |
| 15:05-15:35 | 3. 事例研究1：インドネシア、バツ・ヒジャウ鉱山
貴島兼隆／ヌサ・テンガラ・マイニング(株)代表取締役副社長 |
| 15:35-15:45 | ～休憩～ |
| 15:45-16:05 | 4. 事例研究2：ニューカレドニア、ニッケル鉱山開発
井田徹治／共同通信社科学部次長 |
| 16:05-16:25 | 5. 事例研究3：フィリピン、リオツバ・ニッケル製錬事業
波多江秀枝／国際環境 NGO FoE Japan |
| 16:25-17:00 | 6. ディスカッション |

司会・進行：坂本有希／地球・人間環境フォーラム

第3回 鉱物資源

～講演者略歴～

●谷口 正次(たにぐち・まさつぐ)／国際連合大学ゼロエミッション・フォーラム理事

1960年九州工業大学鉱山工学科卒業後、小野田セメント株式会社に入社。1994年に秩父小野田株式会社常務取締役、1996年専務取締役、1998年に太平洋セメント株式会社専務取締役を歴任。2001年に屋久島電工株式会社代表取締役社長(太平洋セメント株式会社専務取締役兼務)に就任、2004年退任。現在は、国連ゼロエミッション・フォーラム理事、千葉商科大学大学院政策情報学研究科客員教授、産業界ネットワーク代表などとして持続可能な社会構築に向けた活動に従事している。著書に『入門・資源危機』(新評論／2005年)などがある。

●貴島 兼隆(きじま・かねたか)／ヌサ・テンガラ・マイニング株式会社代表取締役副社長

日本輸出入銀行(現国際協力銀行)にてワシントン首席駐在員、海外投資研究所副所長、検査部長、ニューヨーク駐在外事審議役を歴任。この間、1984～86年には(財)国際金融情報センター調査第一部長、86～87年にはセントアントニーズ・カレッジ(オクスフォード大学)客員。1997年に同行退職、ヌサ・テンガラ・マイニング株式会社副社長に就任、現在に至る。

●井田 徹治(いだ・てつじ)／共同通信社科学部次長

東京大学文学部卒、共同通信社に入社。つくば通信部などを経て1991年、本社科学部記者。2001年から2004年まで、ワシントン支局特派員(科学担当)。現在、科学部次長。環境と開発の問題を長く取材、気候変動に関する政府間パネル総会、気候変動枠組み条約締約国会議、ワシントン条約締約国会議、環境・開発サミット(ヨハネスブルグ)、国際捕鯨委員会総会など多くの国際会議も取材している。著書には、「データで検証!地球の資源ウソ・ホント」(講談社 ブルーバックス／2001年)、「サバがトロより高くなる日、危機に立つ世界の漁業資源」(講談社現代新書／2005年)などがある。

●波多江 秀枝(はたえ・ほづえ)／国際環境 NGO FoE Japan

島根県出身。国際政治学専攻。2000年から国際環境NGO FoE Japanにおいて「開発金融と環境プログラム」でボランティアを始める。2001年からキャンペナーとして、フィリピン各地の開発事業の現場を回り、地元の団体と環境社会問題の解決に取り組み続けている。

●満田 夏花(みつた・かんな)／地球・人間環境フォーラム

地球・人間環境フォーラム主任研究員。国際協力機構(JICA)環境社会配慮審査会委員、明治学院大学非常勤講師。2001～2004年国際協力銀行(JBIC)環境審査室に勤務。現在は、「発展途上国における企業の社会的責任(CSR in Asia)」、「国際金融機関の環境社会配慮」などの調査業務に従事。

～ 今後のセミナー予定 ～

第4回 木材と木材製品●9月26日(火) 13:00～16:15

(「グリーン購入法改定後の動き」「富士ゼロックスの取り組み」など)

※会場が「新宿御苑インフォメーションセンター2階」、開始時刻は午後1時に変更になりました。

第5回 金融●10月下旬予定 (「責任ある融資」に向けた取り組み)など)

第6回 企業の取り組み事例●12月上旬予定

<問合せ先>

地球・人間環境フォーラム(担当:根津亜矢子) Tel. 03-3592-9735 E-mail: bwa15929@nifty.com

http://www.gef.or.jp/seisakuteigen/genzairyou_seminar2006.htm